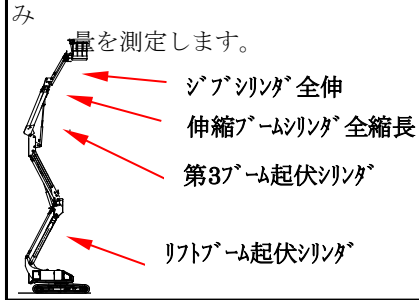
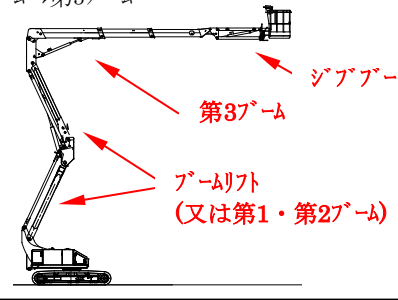
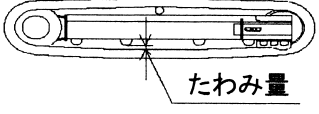


メーカー名 長野工業

適 用 範 囲		モ デ ル 名			NUL09-7	
		適用号機又はスペック番号			9NU70051～	
区分	検 査 箇 所	運用項目 ※測定条件、方法		単 位	検 査 基 準 値	
エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1350±50	
			ハイアイドル	min ⁻¹	2530±50	
		弁すき間	吸気弁	mm	0.145～0.185	
			排気弁	mm	0.145～0.185	
		圧縮圧力		MPa/min ⁻¹ (kgf/cm ²)	3.23～3.62 (33～37)	
		回転速度		min ⁻¹	250	
走 行 装 置	履帯 クローラベルト	ゴムクローラ張り(たわみ量)※5		mm	25～35	
		鉄シュー	クローラリンクピッチ (4リンクピッチ)※8	mm	－	
	走行ブレーキ	制動距離		m	－	
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.5	
作 業 装 置	ブーム	スライディング パット部ガタ	上下方向	mm	1	
			左右方向	上側	mm	1
				下側	mm	1
		スライディングパット摩耗量		mm	2	
油 圧 装 置	油圧ポンプ	吐出圧	P1,P2,P3	Mpa (kgf/cm ²)	20.6±2.0 (230)	
			走行側	Mpa (kgf/cm ²)	－ ()	
		ポンプ回転数	低速	min-1	1350	
			高速	min-1	2530	
		※作動油		－	VG32	
		油温		°C	40±10	
	油圧シリンダー	自然降下量※1	起伏	mm/10min	2以下	
			伸縮	mm/10min	2以下	
			平衡装置	mm/10min	2以下	
	安 全 装 置	車体傾斜角 警報装置	作業角度	前後	°	5.0±0.5
左右				°	5.0±0.5	
走行停止規制		走行停止規制高さ		m	第1 2.0 第2 3.5	
		傾斜地走行停止規制高さ		m	第1 0.4 第2 1.5	
高速走行規制		ブーム姿勢	起伏角	m	第1 0.4 第2 1.5	
			伸縮	m	0.03	
作業範囲規制装置	作業範囲規制 ※9		－	－		
	モーメントリミッタ ※9		－	－		

クローラ式(内燃機式)

適 用 範 囲		モ デ ル 名		NUL09-7	
		適用号機又はスペック番号		9NU70051～	
区分	検 査 箇 所	運用項目 ※測定条件、方法		単 位	検 査 基 準 値
総 合 テ ス ト	作業速度 測定方法※2	第1ブーム起伏(リフト)	上	s	12±6
			下	s	12±6
		第2ブーム起伏(ブーム)	伸	s	26±6
			縮	s	26±6
		伸縮ブーム	右	s	15±6
			左	s	15±6
		バスケット首振	上	s	6±5
			下	s	8±5
		旋回	右	s /360°	75±10
			左	s /360°	75±10
		走行	高	km/h	1.4±0.5
			低	km/h	0.9±0.4

※1、ブームシリンダー自然降下量測定 - 伸縮ブームシリンダーを全縮長にします。 - 各ブームシリンダーを最伸長にします。 - そのままの姿勢で10分間放置しシリンダーの縮み量を測定します。  ジブシリンダー全伸 伸縮ブームシリンダー全縮長 第3ブーム起伏シリンダー リフトブーム起伏シリンダー	※2、ブーム作動速度 ※NUL120-6の場合ブームの名称が異なります。 第1ブーム→ブームリフト（第1、第2ブームの同調起伏） 第2ブーム→第3ブーム  ジブブーム 第3ブーム ブームリフト (又は第1・第2ブーム)
※5、クローラ張り調整 - クローラを地面から浮かせて下さい。 - クローラの中央部に最も近いトラックローラ下面とクローラの転動面との間隔（たわみ量）を測定します。 - たわみ量が規定値となる様にアジャストシリンダーの  たわみ量	※8、クローラリンクピッチ 